

下記の研究を行います

「放射線診療従事者の不均等被ばく、特に水晶体の管理に関する実態調査における研究」

当院では、以下の臨床研究を実施しております。

【研究課題名】 放射線診療従事者の不均等被ばく、特に水晶体の管理に関する実態調査における研究

【研究の主催機関】 日本放射線技術学会 学術研究 藤淵班

【研究代表者】 藤淵俊王 九州大学大学院医学研究科保健学部門 医用量子線科学分野

【研究の目的】 国際放射線防護委員会 2012 年勧告では水晶体の白内障のしきい値および水晶体の線量限度を提言した（等価線量：150mSv/年→最大 50mSv/年 20mSv/年）これが国内法令に取り入れられることが想定されるが、医療従事者の水晶体被ばく線量の「実態が明らかでない。本研究は医療施設より水晶体被ばく線量の測定値の提供を受け、現状把握および必要な管理や対策を検討することを目的とする。

【研究の期間】 研究許可日以降～

【研究の方法】

- 対象となる職員 平成 26 年度から平成 28 年度までの当院職員の内、ガラスバッジ装着により水晶体の被ばく線量を測定している方
- 利用する資料・情報の種類
 - ①匿名化した職員の被ばく線量データ
 - ②被ばくした場所、所属、職種以外の情報は使用しません
- 外部への資料の提供
帆人被ばく線量管理値をガラスバッジが提供するソフトウェアにて抽出・加工を行い CVS 形態に整える。データはメール添付にて研究代表者に送付する。本研究では、保護すべき個人情報の内 職種・所属・被ばくした場所および被ばく線量データ以外は使用しません。
本研究は、すでに測定結果を個人宛報告している被ばく情報を使用するため、新たな作業、負担はありません。
なお、本研究は学会主導の研究であり、解析結果の集計等の研究内容に他者が関与することはありません。日本放射線技術学会の責任担当が研究の施行や解析結果の集計をいたします。
- 研究組織
 - ①研究を実施する共同研究実施機関および研究責任者
日本放射線技術学会 学術研究 藤淵班
藤淵俊王 九州大学大学院医学研究科保健学部門 医用量子線科学分野
 - ②情報の提供を行う機関
九州大学、広島大学、国保旭中央、国立病院機構グループ を予定

【利益相反】 本研究において利益相反はありません

【連絡先】 当院の研究責任者は 放射線科 診療放射線技師長 佐合正義